

「人財」でお困りなら

株式会社
ミヨシ・ロジスティックス

042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

電子制作: 株式会社クライムエヌシーデー

KANAKEI

かながわ経済新聞

税金・会計・経営支援

社成員の専門家
りんくグループ

042-730-7801
www.link-tax.com

ちょうどいい
りんく

2019年 4月号 Vol.064

かながわ経済新聞 2019.4月号

吉田英訓の 連載記事が掲載されました

人財の活用④

前回に続き、障がい者雇用についてお話ししたいと思います。障がい者に限らず、職場の生産性を高めていくには、これまでのように「作業中心に人を配置していく」のではなく「人を中心に作業を決めていく」ことが大切です。それでは「具体的に何をしていくのか?」ということですが、何でもそうですが、まずは「現状分析」をしっかりとすることが何よりも大切だと考えます。

普段仕事をしていても「何となく忙しい」あるいは「何となく落ち着いている」といったことがあると思います。しかしながら「何となく」ではなく、しっかりとした根拠の中で作業していくことが重要です。


障がい者雇用をして、今まで通り、いなくなった人(健常者)の代わりに配置をしようとしても、実際は困難です。先にも述べましたが「人を中心に作業を決めていく」という適材適所の配置こそが障がい者雇用のポイントなのです。ですから、障がい者雇用を機に一人一人が何をやっているか「作業の棚卸し」をして、見える化をすれば、適材適所の配置が可能になります。

一方、棚卸しをすることで、隠れている無駄も発見できます。そうすれば、生産性向上にもつながります。こうして障がい者が活躍できる仕事を生み出すことができるのです。

この棚卸しからの作業の再構築は、実は新人研修にもつながります。初めは慣れていないために作業しやすい作業場を作ることで仕事に慣れ、次のステップにつなぐことができるからです。

日々作業に追われることが多い中で、大変ではありますが、一度現状の作業を棚卸ししてみると障がい者だけでなく、高齢者、女性などの雇用創出につながりますし、生産性向上にも役立つのです。

(ミヨシ・ロジスティックス代表取締役/南西フォーラム委員長)



吉田英訓の
着眼大局 着手小局
～人と企業～

という適材適所の配置こそが障がい者雇用のポイントなのです。ですから、障がい者雇用を機に一人一人が何をやっているか「作業の棚卸し」をして、見える化をすれば、適材適所の配置が可能になります。

一方、棚卸しをすることで、隠れている無駄も発見できます。そうすれば、生産性向上にもつながります。こうして障がい者が活躍できる仕事を生み出すことができるのです。

この棚卸しからの作業の再構築は、実は新人研修にもつながります。初めは慣れていないために作業しやすい作業場を作ることで仕事に慣れ、次のステップにつなぐことができるからです。

日々作業に追われることが多い中で、大変ではありますが、一度現状の作業を棚卸ししてみると障がい者だけでなく、高齢者、女性などの雇用創出につながりますし、生産性向上にも役立つのです。

(ミヨシ・ロジスティックス代表取締役/南西フォーラム委員長)